

(案)

## 大野市「こどもまんなか応援サポーター」宣言

大野市は、第六次大野市総合計画の基本目標に「未来を拓く大野っ子が健やかに育つまち」を掲げ、若者が安心して結婚・出産・子育てができ、すべてのこどもたちが夢を持って笑顔で健やかに育つまちの実現を目指し、所得制限を設けない第2子以降の保育料無料化、第3子以降の小中学校の給食費無料化、20歳までの県内学生・こどもの医療費無料化、子育て世代にやさしい企業を応援するなど、各ライフステージに合わせた切れ目のない、全国トップクラス・県内トップの子育て支援施策を実施しています。

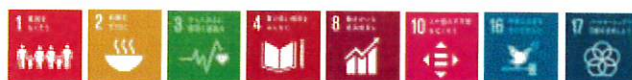
国においては、こども家庭庁が司令塔となり、こどもたちのために何が最も良いことかを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みがスタートしています。

大野市は、こどもにとっての最善を第一に考える「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、地域の宝であるこどもたちや若者を地域全体で支えるまちづくりを、大野らしい・きめ細かなアクションを通じ、市民や団体、企業の皆さんとの協働により推進していくため、「こどもまんなか応援サポーター」として活動することを宣言します。



令和5年8月 日

大野市長 石山志保



## こどもまんなか応援サポーター宣言について

### ◆ 「こどもまんなか応援サポーター」とは

- ・ こどもたちの最善を常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できるような社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、その社会の実現に向けた取り組みを行う地方公共団体、個人、団体、企業が「こどもまんなか応援サポーター」に位置付けられる（こども家庭庁による取り組みの一つ）。
- ・ サポーターはこどもまんなか社会実現に向けた取り組みの実施、SNS等を活用した取り組みの発信（ハッシュタグ「#こどもまんなかやってみた」を付けて発信）、地域社会に対する取り組みへの参加呼びかけが求められる。

### ◆ 「こどもまんなか応援サポーター」に求められる取り組み等

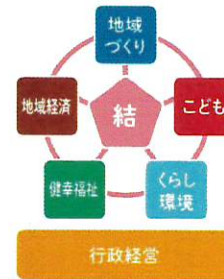
#### ① こどもまんなかの趣旨に賛同する

大野市第六次総合計画 こども分野基本目標「未来を拓く大野っ子が健やかに育つまち」

- 若者が安心して結婚・出産・子育てができ、  
すべてのこどもたちが、夢を持って笑顔で健やかに育つまちの実現  
⇒若い世代、子どもたちを地域全体で支える体制づくり



市の方針と合致



#### 【「こどもまんなか」の趣旨】

こどもや若者の意見を聴き、その意見を尊重し、こどもや若者にとってよいことは何かを考え、自分でできるアクションを実践。どんなこどものことも考えていく。

#### ② 「こどもまんなか」社会実現に向けた施策の実施

- 各ターゲット・ライフステージに合わせた様々な施策を展開  
【施策例】子どもの医療費無料化、多子世帯の保育料・副食費・学校給食費無料化、放課後の居場所づくりなど  
⇒すでに様々な「こどもまんなかアクション」を実行しており、県内トップ・トップクラスの取り組みを今後も継続

#### ③ 市の施策を発信したり、地域社会に広く参加を呼びかける

- 「大野ですくすく子育て応援パッケージ」に代表される取り組みの発信  
⇒応援サポーター宣言を行うと、SNSでの発信をこども家庭庁がシェアするなど、発信力の強化、施策の注目度上昇に期待  
⇒多様な主体が協働して「こどもまんなか」社会の実現に取り組むため、  
「子育て世代にやさしい企業」認定企業や、子育て関係の取り組みを行っている団体・個人にサポーター参加を呼びかける  
⇒サポーターに参加する企業や団体、個人には、SNS等を通じた参加宣言や情報発信を依頼（#こどもまんなかやってみた）  
⇒発信された内容は市、こども家庭庁がシェア

こどもまんなか  
応援サポーター宣言  
を行います

宣言：8月初旬  
同日に報道発表

（近く福井県知事は県のサポーター宣言を発表予定）